



もとみや 議会だより

第12号

平成21年7月発行

6年生と保護者の心肺蘇生講習会
(白岩小学校)

6月定例会

国民健康保険税の不均一課税を統合

補正予算を可決 2P~

ここが聞きたい
9議員が一般質問 7P~

委員会審査報告 4P~

声-議会傍聴に行ってきました- 12P

一般会計補正予算

6億9,279万9,000円を追加

国民健康保険税の不均一課税を統合

主な議案

国民健康保険税条例の一部を改正

6月定例会（第5回本宮市議会定例会）は、市長から条例改正や各種会計の補正予算など16議案と、報告4件が提出されました。

また、最終日には市長から追加議案4件と、議員発議3件及び議員派遣が提出され、全てを原案どおり可決しました。

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことから

所要の改正と、平成21年度国民健康保険に係る本算定課税の税率の改正を行いました。改正の主な内容は、上場株式等に係る損益通算に配当所得を追加することや土地等の長期譲渡所得に特別控除を創設することなどです。

また、合併後、旧町村それぞれの保険料となっていた、不均一課税を統合することを基に税率を改正しました。本来、税率統合は、合併特例法に基づき5年以内となってい

不均一課税を統合

産税の増と各種基金から一般会計への繰り入れなどを行うものです。

ますが、5年後となる23年度までに国保税率の統合を行うことは、両地区の税額差が大きく、白沢地区の負担増が大ききことから、統合初年度となる本年度は、両地区の負担に不公平感が生じないように両地区同税率とし、今後10年をかけた必要税額まで税率の改正を行うものです。

平成21年度一般会計補正予算（第2号）

平成21年度一般会計は、6億9,279万9千円を追加し、総額を122億9,529万4千円としました。歳入の主な内容は、固定資

工業用地造成事業償還基金条例を制定

合施設が開設されることから管理運営費や備品購入費などを計上しました。

世界経済の同時不況の長期化が予想されるため、工業用地造成事業の償還に必要な財源を確保し、将来的に安定した財政運営を図るため、新たに基金を設置する条例を制定しました。

地域振興基金条例を廃止する条例を制定

基金は、平成2年に「地域福祉活動の促進、快適な環境の整備」を目的に設置されましたが、事業は一般財源により実施している状況から基金を廃止する条例を制定しました。

基金の廃止に伴い、財政調整基金に積立を行い自主的財政健全化計画に基づき、安定した財政運営を図ることとしました。また、同理由により、緑化基金と道路愛護基金を廃止する条例を制定しました。

白沢老人福祉センター条例の一部を改正

白沢老人福祉センターは、土曜日・日曜日を休館日としていることから地域のイベントなどに対応できない状況にありましたが、今回、地域開催事業に対し、市長が必要と認められた場合は、土曜日・日曜日及び祝日も使用できるように条例の一部改正しました。

市民元気いきいき応援プラザ条例を制定

10月1日開設予定の複合施設の名称や、運営に必要な事項を定めるため条例を制定しました。

施設の名称を「本宮市民元気いきいき応援プラザ」とし、市民の健康増進、子育て支援の推進、多世代交流を図る施設として使用する場合の使用許可などについて定めました。



10月オープンに向け工事が進む市民元気いきいきプラザ

意見書提出

議員発議として、次の意見書3件を可決し、内閣総理大臣をはじめ関係大臣等に提出しました。

・ミニマムアクセス米の輸入見直しに関する意見書

輸入米の安全性に加え、国内では米の生産調整が拡大・強化されていることから、ミニマムアクセス米の輸入の中止を求めました。

・農地法の「改正」に反対する意見書

一般企業の農地の所有を可能とする農地法の一部を改正する法律案の廃案を求めました。

・政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米の買い入れを求める意見書

政府は、備蓄米の適正在庫は100万トンとし、売れた量だけ買い入れるとしているが実施されていないため、備蓄ルールに基づいた買い入れを求めました。

人事

人権擁護委員の推薦

総務大臣委嘱の人権擁護委員として推薦することに同意しました。

小野 進氏

(仁井田字下ノ原)

臨時会

〔5月29日〕

福島県人事委員会勧告に基づき、議会議員、市長等の特別職の6月期末手当を0・15月引き下げるとの条例の一部を改正しました。

また、一般行政職についても同理由により期末勤勉手当を0・2月引き下げる条例の改正を行いました。

この他、一般会計補正予算や地方税法等の一部を改正する法律が公布されたため、市税条例等の一部を改正した専決処分承認などが提案され、すべて原案のとおり可決しました。

平成21年 第5回 本宮市議会定例会提出陳情文書表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名及び要旨	提出者	審議結果
陳情第1号	5月27日	省略	ミニマムアクセス米の輸入見直しに関する陳情書	安達地方農民連白沢支部 支部長 平 勝 治	採 択
陳情第2号	5月27日	産業商工	農地法の「改正」に反対する陳情書	安達地方農民連白沢支部 支部長 平 勝 治	採 択
陳情第3号	5月27日	産業商工	政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める陳情書	安達地方農民連白沢支部 支部長 平 勝 治	採 択

総務文教常任委員会

常任委員会 審査

総務文教常任委員会には、本宮市地域振興基金条例を廃止する条例制定のほか2件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

地域振興基金廃止による財源を、行政区の地域振興補助の調整財源に活用する検討はしなかったのか。

回答

今回は、工業用地造成事業償還基金の創設と基金全体の見直しを行い、廃止による財源を財政調整基金に積み立てるものである。地域振興補助の調整案がまとまった段階で、財源的な必要があれば協議をしたい。

なお、地域振興基金に積み立てていたふるさと納税寄附金分は、他の基金に積み立てる。

意見

ふるさと納税寄附金は、速やかに活用するとともに、寄附者へその用途について報告し、感謝の意を表すべき。

質疑

市職員の定年退職者を再雇用する再任用制度の雇用期間と、どのような業務内容を考えているのか。

回答

期間は、再任用された年度末までであり、一年更新となる。

業務内容は、基本的には市長の特命事項とする。



現地調査（本宮小学校第1校舎建設現場）

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市民元いきいき応援プラザ条例制定のほか5件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

本宮市民元いきいき応援プラザ条例制定

質疑

施設で提供される子育て相談の内容は。

回答

保健師、保育士による健康や育児相談が中心となるが、内容に応じて教育、福祉等の関係機関との橋渡しの役割を担う。

本宮市白沢老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定

要望

周囲に隣接するスポーツ施設の利用者等に対し、必要に応じて施設を開放する趣旨には賛同するが、従来からの高齢の利用者に不便が生じぬよう利用者の優先順位を明確にしておくこと。

一般会計補正予算

質疑

スロー筋トレ事業をどのように普及させていくのか。

回答

当初は大学に所属する2名の専門講師を招いて指導者養成にあたってもらうが、将来的には、その受講者が新たな指導者となり、多くの市民へ普及・啓発していくことを期待している。



現地調査（南消防署）

産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、工業用地造成事業償還基金条例のほか2件の議案と陳情2件が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

本宮市工業用地造成事業償還基金条例制定

質疑

経済状況が厳しい中、工業団地の販売状況は。

回答

現在のところ有力な引き合いはないが、分譲地の早期販売の努力をしたい。

一般会計補正予算

質疑

白沢地区にある農産物直売所を利用し、農家レストラン経営のための支援を行うとのことであるが、他の施設を参考に、当市においても主要道路へ農産物直売所の設置を検討すべきではないか。

回答

現在のところ具体的な計画はないが、将来構想として検討したい。



現地調査（アサヒビール株）

陳情の審査結果

陳情第2号「農地法の「改正」に反対する陳情書」については、企業の参入による地域の疲弊化、耕作者と農地の保護のため、法の改正には反対すべきであるとのことから、採択と決定しました。

陳情第3号「政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める陳情書」については、2009年産の米価は、需要の落ち込みや汚染米の影響、量販店での値下げ販売により価格へ重大な影響が予想されることから、採択すべきと決定しました。

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、本宮市緑化基金条例を廃止する条例制定ほか5件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

本宮市緑化基金条例を廃止する条例制定

質疑

緑化基金設置当時の基金の設置目的は何だったのか。

回答

日本宮町では、当時、生垣を設置する方々に補助金を助成し、全町公園化構想を目指していた。

質疑

緑化基金を廃止することで全市公園化構想が希薄化するのではないか。

回答

生垣設置助成事業については、補助金交付要綱に基づき事業化されており、今後、構想が希薄化しないよう広報やホームページ等を活用し啓蒙活動に努めたい。

一般会計補正予算

質疑

浄化槽設置者の台帳整備は行っているのか。

回答

合併浄化槽補助申請の際に、随時台帳を整備し管理している。

意見

今後も設置状況を把握し、住み良い環境を確保するため、各自が浄化槽の定期点検等を怠らないよう維持管理の指導に努めるべきである。



現地調査（市道 堤崎・平田石線）

阿武隈川本築堤対策特別委員会の調査が終了

11回の委員会を開催

平成19年9月の委員会設置以降、計11回にわたる委員会の中で、本築堤事業及び関連事業について十分な調査を行い、それぞれの事業に内在する問題と方向性について意見を述べ、また国への要望も行ってきました。

今回、議会や市民挙げての要望活動が実を結び、長年の悲願であった左岸本築堤事業がいよいよ着手されたことから、本委員会は調査を終了することとしました。

今回の委員会の中で、執行部より以下の説明がありました。



改修事業が始まる阿武隈川左岸地区

本築堤事業の経過

2月26日と3月2日にA及びC-2ゾーンで「地区懇談会」を開催し、地域代表の方々より堤防先端道路や高水敷の活用方法等について意見を伺いました。この懇談会は地権者や関係者の「地区毎の意見を聴く会」と平行して開催されています。

3月4日、5日に両地区の「土地調査確認会」を開催し、併せてB及びC-1ゾーンの方にまちづくりの進め方や課題等の調査のためのアンケートを行いました。

さらには築堤事業の円滑な推進体制を整備するため、4月1日付で「阿武隈川左岸築堤対策室」に職員4名を配置し、国土交通省への支援体制を強化しました。

本築堤事業の見通し

A及びC-2ゾーンで土地価格算定を行い、6月下旬には「物件調査確認会」を開催したのちに建物等の補償算定を行い、個別の補償協議を進めます。

今年度は4億5,900万円が予算措置され、本宮地区では調査・設計業務並びにA及びC-2ゾーンの

一部用地の取得を計画しています。22年度には、国庫債務負担行為により土地を先行取得するための用地国債設定が予定されています。

内水対策

Aゾーンの内水対策は、東町裏地区への排水ポンプ場設置を求める声が多くあることから、ポンプの規模や雨水排除方式、建設費の市の負担割合などを検討しています。

当地区に排水ポンプ場を設置した場合、排水面積が約6haと大変狭い区域であるにもかかわらず、国土交通省の「10年確率」という基準に基づけばゲートポンプ方式で600ミリのポンプが2台必要になり、その代わりに館町排水ポンプ場の増設は、1,200ミリ2台から1,000ミリ2台に縮小されます。

一方、より簡易で事業費も安価な方法として水中ポンプ方式も併せて検討しています。須賀川市では300ミリ程度の水中ポンプを2台常設し、必要な時に蛇腹管で内水を排除しており、その設置費用は約6,000万円という実績です。

質疑

ポンプ場新設の経費は、須賀川方式の水中ポンプで内水排除対策は充分か。

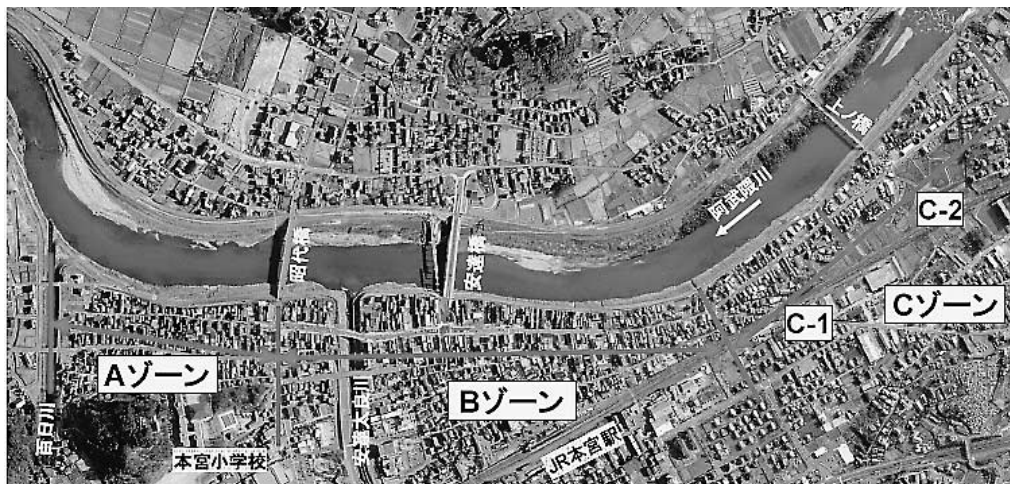
回答

東町裏地区内にゲートポンプ場を設置した場合、事業費が約3億円、補助事業として半分の1億5,000万円が市の負担額と積算した。

水中ポンプ方式は効果の面で検証が必要であり、市民の安心・安全の確保を第一にポンプの選定を行った。

意見

平成20年度の繰越予算も合わせ、本市に多大な予算配分がなされていることから、箇所を絞って集中的に事業を推進すべき。



改修事業が始まる阿武隈川左岸地区ではゾーンごとに懇談会が行われました。(左岸地区ゾーン区域図)

市政を問う

9 議員が登壇



市民の憩いの場（みずいろ公園）



作田 博
議員

Q

A 全都市住みよさランキングの所見は
今後住みよさを求め努力

【問】全都市住みよさランキングによると本宮市が全国で総合27位、東北・北海道で1位となった。住民の生活行動の空間的広がりを反映した新たな方式を用いて算出した結果である。これらを踏まえ、市長の所見を伺う。

【答】正直大変驚いている。冷静に考えると、第三者の評価であることも事実であるが、これらのことを厳粛に受け止めるべきではないと感じている。ある面では、大きな課題を背負った。今後、もっと幅広く、住みやすさを求め努力していきたい。

【緑の文化財の保護と管理は】

【問】本宮市指定の樹木の一部に衰退が見受けられる。定期的な樹木の保護と管理が必要と思われる。早いうちに保護することが必要である。今後の保護対策と管理のあり方は。

【総点検をしたい】
【答】歴史的に価値の高い記念物について、指定があるなしはともかく総点検をしたい。行政としての財政支援のあり方も早急に検討していきたい。天然記念物については、専門的な見地から年に一度くらいは総点検してもらう機会も必要ではないかと考えている。



本宮市工業等団地内にある恵向公園

問 工業団地内の恵向公園は、法的に緑地の確保が義務付けられ設置されたものであるが、地域での利用がない。遺跡も手法によってはクリアできるはず。パークゴルフ場等に整備し、地域住民が有効に利用できるよう検討すべきでは。

答 恵向公園については、平成10年に工業団地造成に伴う緑地確保として整備した。まちづくり交付金の中でパークゴルフ場の建設についても一時検討した経過がある。都市公園全体の利活用について総合的に協議をしたい。

問 「市民大学を設置し学習の場の提供を」市となって、町村時代よりも充実した生涯学習の推進を図るため、高齢者のニーズと時代に合った学習の場として、仮称「市民大学」を設置し系統的、継続的な学習の場を提供してはどうか。

答 「長寿大学等を実施している」高年齢者の学習の場として長寿大学や新生大学という名で実施している。社会構造、社会環境が大きく変化する中で、市民一人ひとりが心豊かに充実した生活を送るために生涯学習、社会教育の果たす役割は大変重要であると認識している。



Q 工業団地内公園の有効活用を
A 都市公園全体の利活用を考える

渡辺 秀雄
議員



Q 駅利用5千人の施策は

A 駅利用促進検討委員会の提言を受ける

次藤 栄
議員

問 ①駅利用5千人を目指すため、桜の木1万本構想など、公園から公園への循環型徒歩により、交流人口増を図る考えは。②空き店舗利用などにより経済効果が期待でき、生産者が自由に販売できる農産物直売所を検討すべきと思うが考えは。

答 ①さまざまな方策が考えられるが、今後、検討委員会からの提言等を受け政策を進めたい。②あらゆる角度から農産物の販売拡大、商店街の活性化を含め、総合的な発展と利活用のため検討したい。

問 【住みやすさランキングの感想は】①住みやすさ東北・北海道ランキング1番についての感想は。②農林水産庁省林野庁の経済危機予算を活用し、木造公共施設の充実に取り組むべきと思うが考えは。③区画整理事業中止後の上高木地区生活道路、農道整備に向けての進捗状況は。

答 【市民と一緒に取り組んだ結果】①市民の皆さんと一緒になった取り組みが今回の評価につながったと考えている。②詳しい内容が示されていないが今後確認し、活用の選択を行いたい。③整備計画検討会を開催しご意見を伺った。財政等の調整をしながら計画的に進めていきたい。



駅利用5,000人突破を目指し夢を持てる施策を（本宮駅前）

問 市には慈覚大師が霊場として開山した岩角山があり、全山が県指定の名勝天然記念物である。中でも毘沙門天王は、県の重要文化財に指定され、観光地として脚光を浴び、年一度の大梵天祭は格別。価値ある観光資源を生かす地域活性化への取り組みは。



答 地域の観光資源を有効に、なおかつ効果的に活用するため、地元観光協会や関係する団体等々と連携を図りながら観光地を形成し、構築していくことができるよう今後進めていきたい。

問 新交通システムの早期チェックを期待されスタートした新交通システム、すでに2カ月が経過したが乗降率が気になる。当初計画時の乗車率と対比しどのような状況にあるのか。早期にチェックし見直すべきと考えるが。

答 運行体系、PR活動を考える。利用率の低いところは早期見直しが必要と考えているが、運行してまだ2カ月である。運行体系を見直す前に、一層のPR活動を図り対応を考える。

Q

A 観光地を生かし地域活性化を観光関係の団体と連携し取り組む

七太 根本 議員



生活道路の整備はいつに

問 ①予算書の表示については、年々工夫され分かりやすくなり、債務負担行為の詳細説明がついている。同じように地方債についても付けるべきと思うが。
②決算書に市の発注工事の明細と、決算カードを添付すべきと考えるが。

答 ①件数が非常に多く、資料として掲載するとなりのページ数になる。今後、中味を検討し調整したい。
②件数が多く、入札種類ごとに件数・平均落札率等を掲載している。決算書と決算カードでは、集計の方法が異なるため掲載していない。



Q

A 予算・決算書の詳細資料の充実を中味を検討したい

勝正 川名 議員

問 市道（生活道路）の整備は、単年度で一路の生活道路整備はいつになるのか。地域によっては整備が30年、50年待つことになるのでは。
②市道整備支援制度の創設を真剣に考える時期ではないか。

答 ①財政健全化計画の中で、生活道路整備事業については、本宮地区が56路線、白沢地区が33路線となっている。すべてが整備されるのには相当な時間を要する。
②近隣の市町村で支援制度を行っているところを調査し検討したい。



本宮駅長主催の市内観光ツアー（県指定名勝記念物の岩角山見学）



定期的な検診で健康チェック（6月15日の総合検診）

【問】市民の健康のためにも、各種検診で病気を早期に発見することができれば健康の回復も早く、医療費の低減につながる。予防医療の充実に力を入れるべきと考えるが、早期発見、早期治療の効果は。



【問】検診の早期発見、早期治療の効果は

【答】健康回復、医療費の軽減に有効
渡辺善元 議員

【答】昨年、要精密検査後、胃がん、大腸がん、乳がんなどの発見があり、早期の治療や経過観察の診断となった。健康回復、医療の面からも早期発見、早期治療が有効であり、医療費の軽減につながるかと考える。検診率向上のため、あらゆる機会を通じPRをした。

【市道の樹木の伐採は】
【問】市道の安全管理の面から、道路通行の障害になっている樹木の伐採はどのように行うのか。

【その都度実施している】
【答】定期的なパトロールを行い、その都度伐採を実施している。民地の樹木については基本的には所有者に伐採をお願いしている。市道関連の法面等についても、通行上支障のある部分を優先的に伐採している。

【問】①ゴールデンウィークから国内でも大々的に取り上げられ、世界的に大流行になった新型コロナウイルスエンザに対する市としての危機管理体制はどのようにしたのか。
②今後秋から冬に向けての対策はどのようにしていく考えなのか。

【答】①5月1日付けで相談窓口を設置し、県の発熱相談センターとの連携体制を整え、5月9日対策本部を設置した。小・中学生、幼稚園、保育所の子どもたちのためにマスク、消毒薬を配備した。
②感染者の把握と拡大防止のため、県、医療機関と連携し対応したい。

【国の経済、雇用対策交付金の見直しは】
【問】①国の経済、雇用対策に向けての補正予算が成立したが、本市への交付見込み額は。
②使途にあたっては学校や体育館、公民館などの耐震化、生活道路の改善など基礎的なインフラ整備に重点的に執行するべきではないか。

【約2億4,700万円の見込み】
【答】①経済危機対策臨時交付金として約2億4,700万円が見込まれる。
②現在、庁内で事業の取りまとめを行っている。緊急性の高いものなど、財政健全化計画に基づき、市の財政が少しでも負担が軽くなるよう進めている。



【Q】新型インフルエンザの対応は
【A】早急に対策本部を設置した

長谷川 議員



新型インフルエンザ発生の対応を万全に

問 ①国のがん対策推進基本計画では、検診率を50%に上げる目標を立てているが、本市の子宮がん・乳がんの検診率は。②受診率の目標は。③休日、早朝、夜間など受診しやすい環境整備は。④女性検診無料クーポン券の導入は。⑤義務教育で食育と併せがん教育が必要と考えるが。

答 ①子宮がんは12.8%、乳がんは14.9%。②それぞれ5%アップを目標としている。③保健師を通し、どのようなニーズがあるか研究したい。④女性のための検診手帳と併せ詳細ができた第1次検診。⑤検診・健康づくりなど学ぶ姿勢をとれるよう研究したい。

問 【スクール・ニューディール構想の対応は】①スクール・ニューディール構想は学校施設の耐震化、エコ化、情報化であるが、条件の整えられる学校を選びグラウンドの芝生化を導入しては。②教員・児童・生徒数に応じたパソコンの設置台数は。③電子黒板の設置は。

答 【校舎の耐震化を最優先】①校舎の耐震化が最優先で、芝生化はその後の検討事項と考える。②教師用は半分不足しているが整備を検討、教育用は2人に1台で基準を満たしている。③小・中学校に1台を設置し、児童・生徒の学力アップに努力したい。



Q
A 女性の健康を守るがん対策強化は
検診受診率5%アップを目指す

川名 順子 議員



子育てしやすい環境の整備を（しらいわ遊友クラブ）

問 民間調査で「住みよさ」が高く評価され素直に喜ぶ。ただし、年々下降線をたどる行政については市民が大変。それは人口の増加を図ることが大切で「これが本宮の子育て支援だ」と若い世代が安心して子育てできる支援策をさらに充実させる考えは。

答 現在実施している各種の子育て支援事業の継続を図りながら、複合施設を核とした子育てしやすい環境整備を進める。勤労者世帯の過半数が共働き世帯であり、今後企業の果たす役割も大きい。働きやすい職場環境の整備についても要請したい。

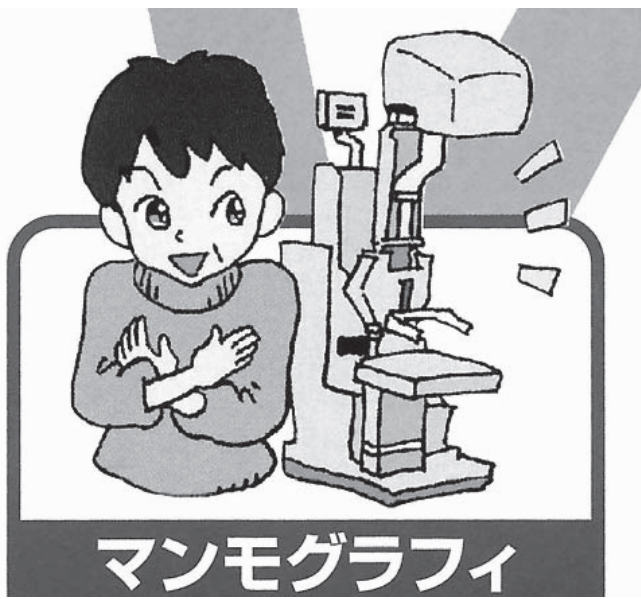


Q
A 人口増に子育て支援の充実を
仕事と家庭の両立を支援

島田 和夫 議員

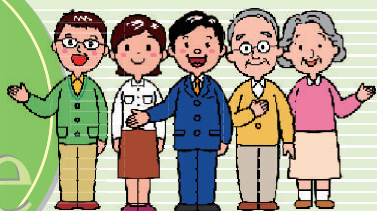
問 【経済格差から子どもの教育を守れ】①子育て世帯の生活苦や母子世帯・父子世帯も年々増加し、経済格差が危惧される社会状況が現実にある。子どもは誰でも平等に教育を受ける権利を持っている。旧態の方法から就学を保障する援助申請制度の是正を。

答 【制度の検討をする】①市では、遠藤輝夫奨学基金を設置し対応している。援助申請について今後どういう形がいいのか考えたい。②制度のあり方を積極的に検討しなければならぬ大事なことだと認識する。



マンモグラフィ

女性検診（子宮がん・乳がん・骨粗しょう症）で早期発見を！



6月定例会を傍聴された方は22人でした。
今回は、その中から吉田武司さん（和田字平内）に傍聴の感想をお聞きしました。



吉田 武司さん

新市誕生して2年半、最大の課題として取り組んだ財政健全化。その成果が広報を通して知らされ、市民の一人として安堵いたしましたところでもあります。
新年度の予算も周辺市町村では厳しい予算を強いられておりますが、本市においては昨年並みの予算執行となり、自力のある強い市を感じたところであります。
このような状況の下、市政執行部とチェック機能の議会が十分機能を果たしているその姿を拝見したく、仲間と共に、市政が誕生してから初の傍聴をさせていただきました。
一般質問に立つ議員の真摯な姿勢、応える執行部、市民の安心・安全、地域の活性化のため声を大にする姿を目の当たりにし、緊張の中に感動を覚えました。今日、かつてない百年に一度と言われる極めて厳しい経済環境の中、執行部と議会の両輪が市民のため、さらに健全に機能されることを期待し、傍聴者の声とさせていただきます。

本市の議会広報を視察 宮城県登米市

7月7日に宮城県登米市議会の議会報編集特別委員会による議会だよりの視察がありました。登米市では、より早い議会だよりの発行を目指しており、活発に意見交換が行われました。



議会報編集特別委員の皆さん

本会議のテレビ中継が始まりました

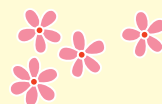
6月の定例議会から市議会本会議の生中継が始まりました。中継は、本宮市役所市民ホールと白沢総合支所の窓口のテレビで、本会議の開催中のみ、ご覧いただけます。是非おいでください。



市役所市民ホールでのテレビ中継

あとがき

本定例会は主に国保税の改正や、一般会計補正予算の審議が行われ、活発な議論が交わされました。
また、市民が待ち望んでいた複合施設の建設も進み、「本宮市民元氣いきいき応援プラザ条例」が制定され、10月には共用開始となる予定です。健康増進と福祉の向上、福祉活動の拠点として大いに期待されています。
混迷する現代社会にあつては、市民はもとより、社会の宝である子どもたちの健全育成のためにも大いに活用して欲しいと願っています。
議会といたしましても、皆様の声を真摯に受け止め、未来に夢と希望の持てる本宮市づくりのため、さらに努力を重ねていきたいと考えています。
(矢)



議会を傍聴してみませんか。

9月定例会は9月上旬開会予定です

議会事務局

TEL 33111111 (内線301)



古紙配合率100%再生紙を使用しています。